

活性化に技術力で貢献

有明高専のICLab 2つの研究室が一つに

研究の垣根を越えて産・学・官・民の連携を深めて活性化に貢献しよう

えた連携が重要と考えた石川准教授が清水講師に呼びかけ、それぞれの研究への相乗効果と、さらなる地域連携を深めるため、ま

職員が、永利新一公認会計士・税理士事務所の永利新一さんから各分野の専門家、経済人と一緒に、それぞれの専門分野を学びあう講演会を開催。地域との交流

に力を入れている。今後は学内では研究室を一緒にしたことで「インターネット」を軸にしたシステム開発と、電子回路教育を軸にしたエンジニアを養成したい」としている。ほかにも研究室の成果を社会に還元するため協力してくれる企業などと産学官と地域の連携を深めたい方針。

研究の垣根を越えて産・学・官・民の連携を深めて活性化に貢献しよう。と、有明高専電子情報工学科の石川洋平准教授の研究室と、電気工学科の清水暁生講師の研究室が一緒になり「ICLab(アイ・シー・ラボ)」を立ち上げた。次世代エンジニアを育成。さらなる地域連携を深め、大牟田の活性化に技術力で貢献したい考え。

石川准教授、清水講師は、有明高専の学生や銀座通商店街、佐賀大学大学院院生や佐賀の情報関連企業、木村情報株式会社、地域住民と連携。商店街にIT関連のベンチャー企業を集めようと、大牟田市の街づくり基金を活用し「まちなかシリコンバレー」に取り組んでいる。ほかにも高専、大学の教

味する「インフォメーション」と回路の「サークル」の頭文字をとって名付けた。今後は研究室の枠を超